



教育委員コラム

発行元
弟子屈町教育委員会
 教育長 小林 俊夫
 職務代理 榎本 悦子
 委員 菅原 誓之
 委員 金井 秀明
 委員 吉田 一徳



弟子屈町教育委員会
 〒088-3292 北海道川上郡弟子屈町中央2丁目3番1号 弟子屈町役場
 電話:015-482-2945 HP:<http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>

教育委員リレーコラム

『SDGs』について

教育委員 菅原 誓之



先日、ある研修会で「SDGs」という言葉を耳にしました。皆さんはご存知でしょうか？「SDGs」（エス・ディー・ジーズ）と発音し、「持続可能な開発目標」という意味だそうです。2015年の9月に国連サミットで採択され、全世界がより良い社会や環境を目指すために17の目標が設定されました。

①「貧困をなくそう」。②「飢餓をゼロに」。③「すべての人に健康と福祉を」。④「質の高い教育をみんなに」。⑤「ジェンダー平等を実現しよう」。⑥「安全な水とトイレを世界中に」。⑦「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」。⑧「働きがいも経済成長も」。⑨「産業と技術革新の基盤をつくろう」。⑩「人や国の不平等をなくそう」。⑪「住み続けられるまちづくりを」。⑫「つくる責任つかう責任」。⑬「気候変動に具体的な対策を」。⑭「海の豊かさを守ろう」。⑮「陸の豊かさも守ろう」。⑯「平和と公正をすべての人に」。⑰「パートナーシップで目標を達成しよう」。という項目です。



各目標とも人的権利や平等性、未来後世の子供たちのために地球環境のより良い保全など、一人一人の努力で実現できそうな目標やみんなが自覚し実践しなければ成し得ない目標もあります。

私たちは、様々な違う生活環境のなか日々暮らし、それぞれが違う悩みや苦しみを持って生きているのではないのでしょうか。最近のニュースを見ると、「自分さえ良ければいい」「他人は関係ない」というような事件報道が目につきます。

この「SDGs」という活動をきっかけに、個人個人が尊重し、互いに認め合う社会になり、平和であり平等であり豊かな世界になればいいと感じさせていただきました。

次回リレーコラムは金井委員です。



教育あっちこっち情報



摩周丘幼稚園「第23回卒園式」

教育委員 金井 秀明

平成31年3月17日、摩周丘幼稚園として最後の卒園式が執り行われました。平成8年に幼稚園として認可され、23年間で734人の卒園生を送り出してきました。多くのご父母ご家族、来賓の方々に見守られ卒園式が始まりました。21名の卒園生も、周りをダークスーツの大人に囲まれ緊張した事だったと思います。鈴木園長や徳永町長のご挨拶中も背筋を伸ばし、しっかり挨拶もできました。最後は「さよならぼくたちの幼稚園」を立派に合唱し、素晴らしい卒園式でした。4月からは新たに、幼保連携型「認定こども園ましゅう」としてスタートします。これからも皆のびのびと育てたいと思います。



平成30年度弟子屈町スポーツ表彰式

教育委員 菅原 誓之

3月14日公民館講堂においてスポーツ表彰式が行われた。この式には弟子屈町、徳永町長をはじめ各ご来賓もご出席のもと開式された。今年度は、スポーツ奨励賞に3個人1団体。スポーツ特別賞に2個人が受賞され、小林教育長より各受賞者に手渡された。また、引き続き弟子屈町体育協会賞の表彰式も行われ、功労賞と特別賞に1名づつが受賞された。各個人の方々や団体の皆さんも、日常の練習や努力の結果として、様々な大会において優秀な成績をおさめられた証だと思えます。今後も弟子屈町の各スポーツ選手が全道・全国・世界に活躍してくれることを願っています。



管内女性教育委員研修に参加しました

職務代理 榎本 悦子

2月28日、釧路教育局で釧路管内市町村教育委員の女性教育委員研修がありました。管内の教育委員さんと顔を合わせる機会は数回ありますが、今回のように女性教育委員だけで集まりを持つのは初めてで、北海道全体でも珍しいとのことでした。所要で欠席の釧路町以外、釧路市・厚岸・浜中・標茶・鶴居・白糠・弟子屈から8名の女性教育委員が参加しました。前半は鈴木局長から「これからの教育委員に求められること」という講話を頂き、その後まなっほとでのランチあたりからは話しも弾み、午後へと短い時間の中たくさんの話しができました。今回の企画は、男性が多い教育委員会の中、他町村の女性教育委員さんはどんな考えや活動をしているのか意見交換がしたいとの思いから実現しましたが、講話も含めてとても勉強になりました。皆さんのお話をお聞きし自分も頑張らなければと思ひ直す機会でした。



素敵な演奏会！ありがとう！

教育長 小林 俊夫

2月23日午後1時から弟子屈小学校体育館において、弟子屈小学校吹奏楽少年団の「定期演奏会2019」が開かれ、多くの町民の皆さんが、素敵な演奏に耳を傾けていました。少年団のメンバーは、有馬葵部長さんほか14名の団員で編成され、加賀谷直樹さんの指揮と、佐藤文さんと佐藤俊さんの指導のもと、第1部は「恋」「打上花火」「白狐囃子」「さくらんぼ」「Mission Impossible」の5曲を披露。休憩を挟んで、第2部では、「USA」に続いて、アンサンブル演奏として「自分の担当していない楽器に挑戦」と題して、金管チーム8名で曲「栄光の架け橋」と、木管打楽器チーム6名で曲「小さな世界」を披露してくれました。その後、「Lemon」「明日があるさ」、最後にアンコール曲「ひまわりの約束」を演奏し、大きな拍手が送られていました。演奏後、団員全員の手で入場者全員に飴付きメッセージカードを配り、感謝の気持ちを伝えていました。日頃の練習の成果が十分に発揮された素晴らしい演奏会でした。



幼稚園

教育委員 吉田一徳

私が幼稚園のころ、怒られるたびにいつか幼稚園から逃げて歩いて帰ろうと思っていた。結局のところ一度も歩いて帰ることはなかったけれど、色々な思い出が詰まっていた。それから二十数年経ち、我が家の子供たちも名称は違うが同じ園舎に通い、親と違って楽しそうに通園していた。この春にその役目を終える幼稚園だが、多くの人達の記憶にその姿が残るだろう。ありがとう、幼稚園。



★★ 編集後記 ★★
長い冬も終わり、やっと春らしくなりました。あとひと月ほどでいよいよ平成も終わり新元号となります。昨年より何にせよ「平成最後、平成最後…」と言われてきましたが、このコラムも平成最後の発刊です。(笑)

(菅原)